

ゆいま～る

生涯学習&
ボランティア情報誌



9月号

ボランティア体験

8月に4日間のボランティア体験を実施しました。体験には小中・高校生、ボランティアに興味がある一般の方が参加されました。光市ボランティア連絡協議会に登録しているボランティア団体が普段行っているボランティア活動を、参加者にも体験してもらいました。今年度から始めた新たな取り組みですが、体験を通して、自分にできるボランティアを探す機会にもなりました。

8/3 リトミック体験
団体：マウメアオラ



ウクレレの音と一緒に身体を動かしました！

8/4 マイクロプラスチックごみ採取
団体：ひかりエコメイト



海岸に落ちているごみを探しました！

8/10 点字体験
団体：点訳光の会・六点会



点字を習って、名刺としおりを作りました！

8/12 紙芝居朗読・カルタ体験
団体：光紙芝居



紙芝居朗読の練習をして実演しました！



令和8年度光市福祉教育研修会



令和8年8月19日（水）に、光井コミュニティセンターにて「令和8年度光市福祉教育研修会」を開催し、市内の小・中・高等学校長、教職員、地区社協会長や主任児童委員及び社協職員が意見交換、情報交換を行いました。

当日は、山口学芸大学 教育学部教育学科・大学院教育学研究科 佐藤 真澄氏による「希薄化していく地域の中での福祉教育を考える～子どもたちに福祉をどう伝えるか？～」についての講話が行われました。講話の中で体験や事例を通して分かりやすく説明していただき、子どもたちへの関わり方、福祉の伝え方について大切なことを学びました。

佐藤教授の講演



グループワーク様子



グループワークでは、地域ごとのグループに分かれて、「ジュニア福祉員の活動を中学生・高校生につなげていくには」というテーマのもと話し合いました。

小学校ではジュニア福祉員の活動について、地域の関係者は福祉に関する活動について情報交換を行いました。子どもたちへの福祉活動を行っていく中で、「地域の方々と交流する場がもっとあると良い」「ジュニア福祉員の手帳をもっと活用できるよう工夫していくことも重要」といった意見がありました。

参加者の方からは「福祉教育のつながりの大切さを実感することができた」「子どもたちへの今後の関わり方のヒントを得ることができた」等の感想があり、色々な立場の方と意見交換をする貴重な時間となりました。

問い合わせ先：光市社会福祉協議会・光市ボランティアセンター事務局

電話 0833-74-3020 / FAX 0833-74-3073 / メール v-center@hikari-shakyo.or.jp